

令和7年度

# 事業報告書



「マナビィ」  
生涯学習マスコットマーク

学び

出会い

よろこび

石川県立生涯学習センター

ISHIKAWA PREFECTURAL LIFELONG LEARNING CENTER

## は じ め に

石川県では、石川県成長戦略の施策として「人生100年時代を見据えた、生涯にわたり学び活躍できる環境の整備」を掲げ、多様な学習ニーズに応える学びの機会の充実や、各地域における優れた取組の普及啓発の促進により、県民一人一人が生涯にわたり学び、自分の成長を実感できるよう、生涯学習を推進しています。

石川県立生涯学習センターにおいては、「いつでも」「どこでも」をキャッチフレーズとし、県内にお住まい、又は、お勤めの方であればどなたでも受講できる、「石川県民大学校」を開校し、市町、大学、民間教育機関などと連携して、県内全域において、教養・文化・生活・健康等、様々な分野における学習機会を提供してきました。平成2年の開校以来、修了された方は延べ2万人を超え、多くの方々が、その学習成果を生かし、地域の生涯学習やボランティア活動の場でご活躍されています。

令和6年に、能登半島地震、奥能登豪雨と、2度にわたる未曾有の大災害が起き、甚大な被害をもたらされ、災害からの復旧・復興も道半ばの状態です。そのような状況のもと、令和7年度の「石川県民大学校」は、本校で実施した講座は、ほぼ例年通りでしたが、奥能登の生涯学習の拠点となる能登校の講座を運営する能登分室は、復旧・復興の拠点として様々な団体や機関に活用されているため休館が続き、能登校での講座のほとんどが休講となりました。連携機関が実施する講座に関しても、度重なる災害の影響を受けた機関の講座が休講となりました。

この様に多くの講座が休講となりましたが、能登分室での「能登文化講座」「能登の歴史探訪講座」「古文書解読講座」の3講座については、空港ターミナルの会議室や講義室で開講することができました。

また、文部科学省の支援を受け、被災地の小中学生対象に、「オーケストラ・アンサンブル金沢による音楽鑑賞教室」や「いしかわの資源を生かした工作教室」、「サイエンスマジック体験教室」、「わくわくさんによる講演会」を実施することもできました。

この7講座には、能登にお住まいの方に受講していただくことができました。復旧から復興へと歩みを進める能登の生涯学習推進のための一助となったとすれば幸いです。

能登校については新年度も休館が続く見込みであり、令和8年度の講座及び貸館事業は実施が見通せない状況ですが、実施可能なものから創意工夫しながら職員一丸となって全県下での「人生100年時代の生涯学習社会」の実現に寄与してまいりたいと考えています。今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

結びに、当センターの事業実施・運営にあたり、ご尽力いただきました関係の皆様方に心から感謝申し上げますとともに、今後とも一層のご指導とご協力を賜りますようお願いいたします。

令和8年5月

石川県立生涯学習センター  
館長 河内 聡一郎



# I 生涯学習センター

## 1 石川県民大学校

### (1) 石川県民大学校のあゆみ

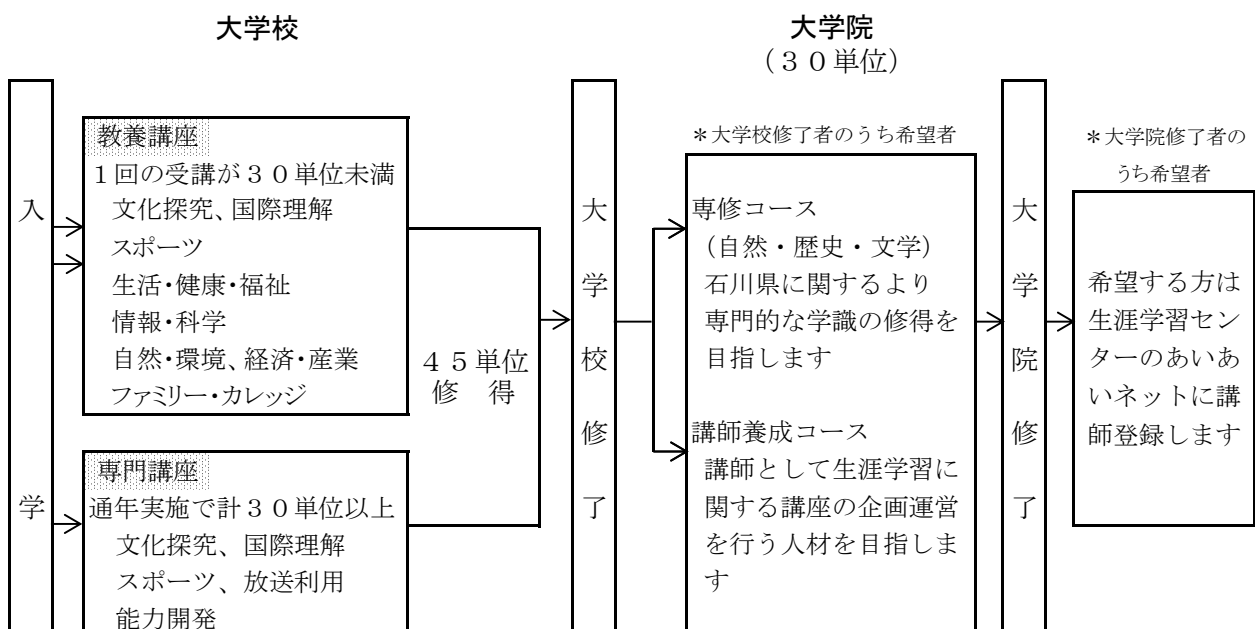
石川県民大学校は平成2年6月に開校、大学院は平成11年6月に開校した。

#### ○講座数の推移

年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数	年度	講座数 ( )内専門・大学院講座数
平成 2年	223 (70)	平成24年	1,054 (31・4)
平成 3年	274 (78)	平成25年	1,084 (30・4)
平成 4年	290 (89)	平成26年	1,132 (29・4)
平成 5年	313 (98)	平成27年	1,186 (28・4)
平成 6年	321 (103)	平成28年	1,212 (30・4)
平成 7年	331 (111)	平成29年	1,178 (32・4)
平成 8年	325 (107)	平成30年	1,206 (32・4)
平成 9年	332 (117)	令和 元年	1,232 (32・4)
平成10年	330 (126)	令和 2年	802 (22・4)
平成11年	485 (121・4)	令和 3年	837 (26・4)
平成12年	498 (130・4)	令和 4年	1,012 (26・4)
平成13年	504 (114・4)	令和 5年	941 (29・4)
平成14年	582 (114・4)	令和 6年	824 (25・4)
平成15年	684 (110・4)	令和 7年	724 (27・4)
平成16年	739 ( 88・4)		
平成17年	815 ( 54・4)		
平成18年	856 ( 46・4)		
平成19年	904 ( 45・4)		
平成20年	897 ( 39・4)		
平成21年	938 ( 40・4)		
平成22年	944 ( 37・4)		
平成23年	1,021 ( 34・4)		



#### ○石川県民大学校入学から修了までの流れ



(2) 石川県民大学の受講(入校)状況(令和7年度)

表1 講座のコース別開設数及び受講者(入校者)数

講座	コース名	講座数	受講者(入校者)数
教養講座		693	4,643
専門講座		27	514
大学院	専修(自然・歴史・文学)	3	12
	講師養成	1	1
合計		724	5,170

表2 地区別受講者(入校者)割合(%)

地区名	受講者(入校者)割合
加賀市	1.2%
小松市・能美市・能美郡	4.5%
白山市・野々市市	8.1%
金沢市	45.1%
かほく市・河北郡	7.7%
羽咋市・羽咋郡	3.1%
七尾市・鹿島郡	1.1%
輪島市・鳳珠郡	6.1%
珠洲市	0.5%
不明・県外	22.6%
合計	100%

表3 年代別受講者(入校者)割合(%)

年齢	割合
19歳以下	12.1%
20歳～29歳	0.2%
30歳～39歳	0.2%
40歳～49歳	1.6%
50歳～59歳	4.3%
60歳～69歳	10.2%
70歳～79歳	26.7%
80歳以上	7.9%
不明	36.8%
合計	100%

## (3) 石川県民大学校の推移

表1 講座数の推移

(単位:講座)

年 度		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
大 学 校	教 養 講 座 計	1,196	776	807	982	908	795	693
	専 門 講 座 計	32	22	26	26	29	25	27
	文化探究コース	9	6	8	8	8	8	8
	国際理解コース	12	8	10	10	10	8	8
	スポーツ・生活コース	5	5	5	5	5	5	5
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0
	能力開発コース	3	0	0	0	3	1	3
	放送利用コース	3	3	3	3	3	3	3
大 学 校 計		1,228	798	833	1,008	937	820	720
大 学 院	専修コース	3	3	3	3	3	3	3
	講師養成コース	1	1	1	1	1	1	1
	石川の博士養成講座 計	4	4	4	4	4	4	4
合 計		1,232	802	837	1,012	941	824	724

表2 実施機関数及び講座数

(単位:機関・講座)

実 施 機 関	年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
	講座数							
国 立 機 関	機 関 数	3	3	3	3	3	3	2
	講 座 数	59	20	36	34	37	46	9
県 機 関 計	機 関 数	39	41	39	38	37	31	30
	講 座 数	483	361	339	397	375	292	268
知事部局等	機 関 数	23	25	25	22	21	20	20
	講 座 数	219	135	124	148	122	95	93
県立学校	機 関 数	5	5	3	6	6	3	2
	講 座 数	6	3	0	6	5	2	2
県 教 委	機 関 数	11	11	11	10	10	8	8
	講 座 数	258	223	215	243	248	195	173
市町村教委	機 関 数	34	35	35	33	34	31	25
	講 座 数	130	94	93	104	81	68	61
各 種 法 人	機 関 数	50	52	47	47	47	46	43
	講 座 数	454	295	325	393	362	335	313
各 種 団 体	機 関 数	13	14	13	13	12	13	12
	講 座 数	106	32	44	84	86	83	73
合 計	機 関 数	139	145	137	134	133	124	112
	講 座 数	1,232	802	837	1,012	941	824	724

表3 受講者(入校者)数の推移

(単位 : 人)

年 度		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
大 学 校	教養講座 計	10,793	5,151	5,433	6,094	8,500	6,258	4,643	176,414
	専門講座 計	628	462	53	338	430	430	514	47,184
	文化探究コース	312	220	46	183	174	261	270	14,653
	国際理解コース	147	116	0	139	116	77	101	9,850
	スポーツ・生活コース	15	15	0	15	15	15	14	8,256
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	4,482
	能力開発コース	142	106	0	0	125	76	125	8,421
	放送利用コース	12	5	7	1	0	1	4	1,522
大 学 校 計		11,421	5,613	5,486	6,432	8,930	6,688	5,157	223,598
大 学 院	専修コース	21	30	15	11	12	16	12	1,844
	講師養成コース	7	6	1	5	5	2	1	428
	石川の博士養成講座 計	28	36	16	16	17	18	13	2,272
合 計		11,449	5,649	5,502	6,448	8,947	6,706	5,170	225,870

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表4 修了者数の推移

(令和8年3月末現在)

(単位 : 人)

年 度		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	合計
大 学 校	教養講座 計	291	165	140	186	283	224	189	5,459
	専門講座 計	482	267	26	98	385	388	432	15,784
	(コース重複)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(592)
	文化探究コース	242	72	24	0	155	236	237	6,196
	国際理解コース	83	73	0	82	90	60	55	2,763
	スポーツ・生活コース	15	15	0	15	15	15	14	1,905
	産業・情報コース	0	0	0	0	0	0	0	641
	能力開発コース	142	106	0	0	125	76	125	4,818
放送利用コース	0	1	2	1	0	1	1	53	
大 学 校 計		773	432	166	284	668	612	621	21,243
大 学 院	専修コース	13	10	13	9	10	11	10	622
	講師養成コース	5	4	1	3	3	2	1	196
	石川の博士養成講座 計	18	14	14	12	13	13	11	818
合 計		791	446	180	296	681	625	632	22,061

※大学校の合計は平成2年度からの累計、大学院の合計は平成11年度からの累計

表5 年代別修了生数(令和7年度修了生の内訳)

(単位 : 人)

年 代	19歳 以下	20~ 29	30~ 39	40~ 49	50~ 59	60~ 69	70~ 79	80歳 以上	不明	計
大学校	31	3	1	13	28	97	242	78	128	621
大学院							9	2		11
人数(人)計	31	3	1	13	28	97	251	80	128	632
割合(%)	4.9	0.5	0.2	2.1	4.4	15.3	39.7	12.7	20.2	100

## 2 講座事業

### (1) 令和6年度石川県民大学校・大学院修了証書交付式及び記念講演、ポスター等図案募集表彰式

#### 趣 旨

石川県民大学校・大学院修了生の努力を讃え、修了証書を交付するとともに、生涯学習に対する県民の意識を高め、学習意欲を喚起する機会とする。併せて、石川県民大学校ポスター等図案募集の入選者（最優秀賞、優秀賞）を表彰する。

#### 対 象

令和6年度県民大学校・大学院修了生625名(大学校612名・大学院13名)、  
令和7年度石川県民大学校ポスター等の図案募集表彰者3名、一般

#### 会 場

石川県立生涯学習センター第2会議室

#### 期 日

令和7年5月17日（土） 13:30～15:55

#### 日 程

13:30～14:40	記念講演 「漆の工芸が息づくまちー輪島と金沢ー」と題して、石川県輪島漆芸美術館館長 山崎 剛氏を講師として記念講演が行われた。
15:15～15:45	修了証書交付式 令和6年度大学校・大学院修了生の各代表に、学長代理である副学長(酒井雅洋石川県教育長)より修了証書が交付された。
15:45～15:55	ポスター等図案募集表彰式 最優秀賞1名、優秀賞1名の表彰が行われた。 (優秀賞受賞者2名のうち1名は欠席)

#### 事業の評価(成果・課題)

石川県民大学校・大学院修了生は73名(大学校65名・大学院8名)、ポスター等図案募集表彰者は2名が出席した。

石川県民大学校・大学院修了証書交付式には、県議会議長など来賓14名を含む計98名の出席があり、大学校・大学院の修了生各代表に、副学長より修了証書が授与された。なお今回の大学校修了生代表は、小学生の姉妹2名であった。学長からの式辞、来賓の祝辞の後、大学校・大学院それぞれの修了生代表より挨拶があった。

引き続き行われたポスター等図案募集表彰式では、最優秀賞と優秀賞の各受賞者に、副学長より賞状と副賞が授与された。

式に先立ち行われた、石川県輪島漆芸美術館の山崎 剛館長による記念講演は、一般の参加者17名を含む94名が聴講した。受講生からは「漆の始まりから江戸中期、後半までの歴史と現代的な課題とその解決についてのヒントをたくさんの作品と共に紹介していただき大変勉強になりました」「輪島漆芸美術館に行ってみ学したいと思いました」などの感想のほか、震災・水害からの復興へのエールが寄せられた。

(2) 石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座

趣 旨

石川県の自然・歴史・文学等に関する専門的な学識の修得を目指すとともに、自らが講師となり生涯学習に関する各種講座を企画運営するための知識・技能の習得を目指す。

対 象

石川県民大学校の修了生

期 間

令和7年5月17日(土)～令和8年1月23日(金)

会 場

石川県立生涯学習センター

定 員

専 修コース 60名(自然・歴史・文学の3講座あわせて)  
講師養成コース 15名

修 了

論文や講座企画書の作成を含む所定の単位修得が必要

日 程

	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
1	5月17日(土) 13:30～14:40	石川県民大学校・大学院修了証書交付式・記念講演 「漆の工芸が息づくまちー輪島と金沢ー」	石川県輪島漆芸美術館館長 山崎 剛	94人
2	5月27日(火) 13:30～15:30	専修コース文学① 「石川県と現代詩」	金沢大学准教授 飯島 洋	9人
3	5月30日(金) 13:30～15:30	専修コース自然① 「イカリモンハンミョウの現状」	石川県立大学名誉教授 上田 哲行	8人
4	6月3日(火) 13:30～15:30	専修コース文学② 「白山の文学」	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	12人
5	6月6日(金) 13:30～15:30	専修コース自然② 「世界農業遺産「能登の里山里海」の現状と課題～能登半島地震からの復旧・復興に向けて」	金沢大学名誉教授 中村 浩二	12人
6	6月11日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史① 「明治維新と加賀藩の挫折ー元治の変前後の過程ー」	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	41人
7	6月13日(金) 13:30～15:30	専修コース自然③ 「隆起した海底に見られる陸上植物たち～能登半島地震による生態系の一端より～」	NPO法人石川県自然史センター顧問 高木 政喜	13人
8	6月17日(火) 13:30～15:30	専修コース文学③ 「『草迷宮』～越境する声～」	元金沢学院大学准教授 朝木 敏子	6人
9	6月18日(水) 13:30～15:30	専修コース歴史② 「大伴家持と古代の能登ー饒石川(にぎしがわ)訪問の謎」	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	31人
10	6月23日(月) 13:30～15:30	専修コース歴史③ 「近世金沢の出版」	前田土佐守家資料館副館長(学芸員) 竹松 幸香	24人
11	6月26日(木) 13:30～15:30	専修コース 現地講座 石川県立図書館での学習	石川県立図書館閲覧サービス課司書主任 松尾 萌咲	9人
12	7月1日(火) 13:30～15:30	専修コース 論文作成講座	金城大学短期大学部幼児教育学科専任講師 三浦 哲志	9人
13	7月2日(水) 13:30～15:30	講師養成コース① 「プレゼンテーションの基本」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	1人
14	7月9日(水) 13:30～15:30	講師養成コース② 「スピーチプレゼンテーションの技法」	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	1人
15	7月16日(水) 13:30～15:30	講師養成コース③ 「講師に求められる資質」	(株)できる 代表取締役 杉本 嵩龍	1人
16	7月23日(水) 13:30～15:30	講師養成コース④ 「チラシの魅せ方」	銅版画家・文筆家 三宅 エミ	1人

	日 時	内 容(演 題)	講 師	参加者数
17	9月4日(木) 10:30～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
18	9月4日(木) 11:00～	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	2人
19	9月4日(木) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	石川県金沢城調査研究所副所長 滝川 重徳	1人
20	9月4日(木) 14:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	3人
21	9月8日(月) 11:00～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	1人
22	9月8日(月) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	前田土佐守家資料館副館長 竹松 幸香	1人
23	9月12日(金) 14:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化政策調査員 池田 仁子	1人
24	10月8日(水) 13:30～	講師養成コース 講座企画書指導	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	1人
25	10月20日(月) 11:00～	専修コース文学 論文指導	金沢大学准教授 猪瀬 千尋	1人
26	10月20日(月) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	前田土佐守家資料館副館長 竹松 幸香	1人
27	10月20日(月) 14:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢市文化政策調査員 池田 仁子	1人
28	10月21日(火) 10:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢大学准教授 飯島 洋	1人
29	10月28日(火) 11:00～	専修コース歴史 論文指導	石川郷土史学会副会長 加納 嘉津政	2人
30	10月28日(火) 13:30～	専修コース歴史 論文指導	石川県金沢城調査研究所副所長 滝川 重徳	1人
31	10月28日(火) 14:00～	専修コース歴史 論文指導	金沢大学古代文明・文化資源学研究所客員教授 小嶋 芳孝	3人
32	11月19日(水) 13:30～14:30	講師養成コース 企画講座発表	NPO法人キャリアネットワーク北陸理事長 岡野 絹枝	1人
33	1月23日(金) 13:30～15:30	県民大学校大学院「石川の博士」養成講座 論文発表会・記念講演 『銀嶺のかなた』と利家とまつ	かほく市史編纂委員 瀬戸 薫	42人
合 計				336人

※1～10、33の講座は、一般の方に開放している。

### 事業の評価(成果・課題)

講師による懇切・丁寧な論文作成指導により、修了生(延べ11名)の研究成果を「石川の博士」論文集第27集としてまとめ、発行することができた。

大学院専修コースの基本講座は、開放講座として一般の方も受講が可能である。アンケートでは、「内容の理解度」が「十分」と「概ね」を合わせて97%、「全体としての満足度」が同97%であった。受講者からは「学習の深さを改めて感じた」(文学)、「大変面白くさらに深く学びたいと思った」(歴史)、「近世のことを深く知ることができた」(歴史)などの声があった。専門的な内容の講義であるが、どの分野の講義も高い理解度・満足度で好評であった。

大学院の新規受講者は、前年度に比べ3名から5名に増加した。さらなる新規受講者の拡大に向け、大学院の広報の強化と、専修コースの分野の見直しを進めていく。

また、講師養成コースは近年の受講者減少のため今年度をもって廃止する。代わりに大学校の講座として「生涯学習リーダーズアカデミー」を新設し、生涯学習講師をめざす県民を今後も支援する。

### (3) 石川県民大学校大学院「石川の博士」論文発表会

#### 趣 旨

石川県民大学校大学院「石川の博士」養成講座修了者の代表がその学習成果を発表するとともに、記念講演を通して県民大学校大学院の一層の充実を図る。

#### 日 時

令和8年1月23日（金） 13：30～15：30

#### 会 場

石川県立生涯学習センター第3会議室

#### 対 象・参加者

令和7年度石川県民大学校大学院受講生及び一般 42名 （定員60名）

#### 日 程

13:30～14:00	論文発表 〈専修コース〉 「加賀一向一揆の展開と構造 ーその1 文明・長享の一揆ー」 歴史分野代表 砂田 武嗣  〈講師養成コース〉 「『鑄物の里』能登中居の盛衰ーその1ー ー古代・中世編：能登中居鑄物師その起源と活躍ー」 代表 出村よし江
14:10～15:30	記念講演 「『銀嶺のかなた』と利家とまつ」  かほく市史編纂委員 瀬戸 薫 氏

#### 事業の評価(成果・課題)

大学院受講者11名の中から選ばれた代表2名の発表は、内容・話し方・資料提示などがよくまとまっていた。参加者の感想は「拝聴でき、大変勉強になった」「学習意欲が素晴らしい」など、好評であった。

記念講演では、かほく市史編纂委員の瀬戸薫氏が、「『銀嶺のかなた』と利家とまつ」を演題として登壇された。講演では、史実を裏付けるための調査過程や当時の時代背景を織り交ぜながら、通説とされてきた史実に新たな視点を提示する内容がわかりやすく紹介された。参加者からは、歴史への理解が深まったとの声も多く、関心の高い講演となった。

アンケート結果では、「理解ができた」100%、「興味が持てる」97%、「今後活かせる内容」100%、「満足できた」100%と、いずれの項目においても高い評価を得た。記念講演については、「興味深い秘話を十分に楽しむことができた」「知識の豊富さに驚いた」「漢字一文字や日付など、史実に基づいていて、大変なことだとわかった」といった感想が寄せられ、参加者から好評を得た。

関心の高い歴史分野の講演で申込みが多数であったものの、雪による悪天候の影響で当日欠席が多く、参加者数は42名となった。論文発表会・記念講演の周知に向け、今後も、広報の工夫に努めたい。

#### (4) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい講座

##### 趣 旨

子供から大人まで県民一人一人がふるさとへの愛着と誇りを持ち、石川の文化や歴史、自然、産業等について知識を深めることができるよう、金沢・能登・加賀を会場としてふるさと学習の機会を提供する。

##### 対 象

一般

##### 日 程

###### ① 金沢会場(石川県立生涯学習センター第1会議室)

	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数
1	6月14日(土) 13:30~15:00	ユネスコ文化遺産登録「伝統的 酒造り」と「石川の酒造り」につ いて	株式会社福光屋 取締役相談役 松井 圭三	150人	46人
2	7月3日(木) 13:30~15:00	能登の祭り	加能民俗の会 会長 小林 忠雄	150人	39人
3	7月14日(月) 13:30~15:00	能登の漁業	石川県水産総合センター 普及指導課長 奥野 充一	150人	35人
4	7月26日(土) 13:30~15:00	能登半島地震・豪雨の被災資 料のレスキュー	金沢大学 教授 上田 長生	150人	23人
5	8月2日(土) 13:30~15:00	能登半島地震について	金沢大学 准教授 青木 賢人	150人	36人
6	9月26日(金) 13:30~15:00	古墳時代の渡来文化、加賀と 能登	石川考古学研究会 副会長 伊藤 雅文	150人	64人
7	10月11日(土) 13:30~15:00	北陸と古典	金沢大学 准教授 猪瀬 千尋	150人	36人
8	10月17日(金) 13:30~15:00	輪島塗について	輪島漆器商工業協同組合 総務課 松本 石根	150人	33人
9	10月25日(土) 13:30~15:00	変化する北陸の方言 —旧JR北陸本線沿線4世代調 査の結果を中心に—	金沢大学 名誉教授 加藤 和夫	150人	42人
10	11月4日(火) 13:30~15:00	前田家三代利常と金沢の寺院 群	石川県近世史料編さん室 室長 木越 隆三	150人	88人
合 計				1500人	442人

## ② 能登会場

	日時	会場	演題	講師	定員	参加人数
1	6月21日(土) 13:30～15:00	コスモアイル羽咋	古代気多神宮の歴史を探る	羽咋市歴史民俗資料館 学芸員 中野 知幸	40人	29人

## ③ 加賀会場

	日時	会場	演題	講師	定員	参加人数
1	6月28日(土) 13:30～15:00	白山市鶴来 総合文化会館 クレイン	山城と一向一揆について	白山市ふるさと歴史協議会 副会長 辻 貴弘	40人	47人

## 事業の評価(成果・課題)

今年度、予定していた講座の延期、中止もなく、すべての講座を予定どおり実施できた。

金沢会場(全10回)は、定員総数1,500名のところ、申込総数592名(前年度939名)、受講者総数442名(前年度705名)で、出席率(受講者数/申込者数)は76%(前年度75%)であった。

能登会場・加賀会場は、定員総数80名のところ、申込総数87名(前年度91名)、受講者総数76名(前年度81名)、出席率は87%(前年度89%)であった。金沢会場、能登会場では申込数が定員数を上回る講座はなかった。加賀会場については、会場に余裕があったため、定員を超えても申込受付を継続し、定員を超える出席数47名(前年度46名)であったが、実際の運営に全く支障はなかった。

今年度から講座の参加申込を主として電子申請で受付けた。今年度の総申込者(679名)のうち、電子申請は85%、電話は12%、来館は3%であった。

受講者の年齢は、昨年度とほぼ同様で、3会場ともほぼ60歳以上で、70歳代が約5～6割を占め、60歳未満の受講者は各講座数人レベルであり、金沢会場の2講座(昨年度3講座)と能登会場では60歳未満受講者がいなかった。平日開催と土曜・休日開催とでの受講者の年齢層、受講者数の傾向には特に差はない。実施回による受講申込者数の差は、講師や講演テーマによるものと考えられる。講座開設の趣旨に則り、本県の文化、歴史、自然、産業の観点からテーマを設定しているが、文化や歴史(特に歴史)の人気は非常に高く、自然や産業(特に自然)については、あまり高くないことがうかがえる。受講者数(出席率)の差は、7月26日講座の当日欠席率45%が示すように、夏場の高温が大きく影響している様に思われる。

能登会場と加賀会場を含む全体の受講者アンケート結果は、内容の理解(十分・概ね理解の合計:以下同様)96.7%(昨年度95.2%)、興味をもてる内容である97.5%(昨年度94%)、学びが深まった97.3%(昨年度設問「今後活かせる内容である」86%)、満足できた96.4%(昨年度95%)と高い評価を得て、大変好評であった。「石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができる」という本講座の趣旨を達成することができたと考えられる。

受講者数の減少が課題である。減少している要因として、受講者が常連化していることが大きいこと、そして今年度電子申請導入と講座ごとに講座受付時期を設定したことが影響していることが考えられる。金沢会場での受講申込者(個人)数は194名(昨年度278名)で、うち新規受講申込者(個人)数は55名(前年度36名)である。申込数が減少している中、新規申込者数が増加している。この理由として、Webや県LINEによる広報を強化したことで、SNSの成果があったのではないかとと思われる。一定数の常連の方(高齢の方)の申し込みが多いが、今後、新規申込者を増やし、その方々が継続できるような取組を行う必要がある。具体的には、気候を考えた開催時期の設定、若い世代が興味を持つ内容の工夫、電子申請と併用した電話による申し込み受付や複数回まとめたの受け付けを可能とするなどの改善を図る。

(5) ふるさとモット学び塾 ふるさとふれあい現地講座

趣 旨

県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとし、専門家とともに景勝地・史跡・偉人ゆかりの地等を巡回する講座を実施する。

対 象

一般

日 程

	日 時	演 題	講 師	定員	参加人数	手段
1	5月23日(金) 9:00～12:00	重伝建地区・卯辰山麓寺院群を巡る	金沢工業大学教授 山崎 幹泰	20人	13人	徒歩
2	6月4日(水) 8:00～17:00	「恐竜渓谷ふくい勝山」ジオパークを訪ねる	勝山市ジオパークガイドの 会会長 山岸 登美子	20人	30人	バス
3	9月19日(金) 8:00～17:00	五箇山の暮らしと合掌造り	南砺市文化財審議会委員 山崎 英信	20人	29人	バス
4	10月9日(木) 9:00～12:00	小立野寺院群・石引を巡る	金沢観光ボランティアガイドの 会「まいどさん」活動部副部長 石川 毅	20人	19人	徒歩
5	10月23日(木) 8:00～17:00	北前船寄港地・安宅、船主集落・橋立を訪ねる	小松市立博物館 参事 坂下 雅子 全国北前船研究会副会長 見附 裕史	20人	30人	バス
6	11月7日(金) 8:00～17:00	芭蕉が歩いた加賀路を訪ねて	金沢学院大学名誉教授 柳澤 良一	20人	27人	バス
合 計				120人	148人	

事業の評価(成果・課題)

今年度は、バス利用のコースを1増の4回、徒歩で回るコースを1減の2回、計6回で実施した。

バスによる講座では、昨年に引き続き蓮如ゆかりの地を訪ねる講座として五箇山を訪ねた。徒歩による講座では、重伝建を訪ねる講座として卯辰山麓寺院群を訪ねた。

募集定員は昨年度に引き続き20人としたが、バスは30人、徒歩は20人まで参加できるよう対応した。全体の応募者数は622人で昨年度に比べ258人の増加、受講者数は148人で昨年度の132人から16人増加した。申し込み倍率(応募者数/受講者数)は4.2倍で、昨年度の2.8倍から大幅に増加した。

年齢層は60代・70代が圧倒的に多いが、回によっては20代～50代が1～2名参加することもあった。最高齢は89歳である。

受講者アンケートの「内容は理解できた」「興味をもてる内容である」「学びが深まった」「全体として満足できた」の項目では「十分当てはまる」と「おおむね当てはまる」を合計した割合がほぼ100%であった。専門家とともに史跡、偉人ゆかりの地を訪ね、ふるさと石川の知識を深め魅力を再発見するという講座の目的は概ね達成できた。受講者からは「専門家の先生の解説、ご住職さんのお話し、全て満足がいった。また機会があれば参加したいと思う」「現地を訪れることによりなお一層意義深いものになりました」「芭蕉の足跡について深く知ることができた」などの感想が寄せられた。

回によっては「訪問箇所が多く、日程にもう少しゆとりがほしい」との声が一部あったため、次年度の企画検討において、考慮する。

(6) ふるさとモット学び塾 ふるさと発見出前講座

趣 旨

子どもから大人まで県民一人一人が石川の魅力について知識を深め、ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるよう、小・中学校や公民館において石川の文化・歴史・自然・産業等をテーマとした出前講座を実施する。

対 象

小・中学校： 児童・生徒 ※小学校は、原則4年生以上  
公民館： 一般

日 程

① 小・中学校(3校4講座)

	日 時	学校(学年)	演 題	講 師	参加人数
1	6月27日(金) 9:30~12:10	羽咋市立 西北台小学校 (5)	イカリモンハンミョウの生態	西屋 馨 架谷 成美	7 人
2	10月23日(木) 11:00~12:00	石川県立 金沢錦丘中学校 (1)	石川県が誇る技	株式会社四十萬谷本舗 専務取締役 四十萬谷 正和 よろづや観光株式会社 会長 萬谷 正幸 株式会社板屋 代表取締役 板村 壮麻 高澤ろうそく店 社長 高澤 久 丸八製茶場 代表取締役 丸谷 誠慶	120 人
3	11月5日(水) 13:15~14:30	かほく市立 宇ノ気小学校(4)	能登の伝統祭りについて	加能民俗の会 会長 小林 忠雄	116 人
4	2月26日(木) 13:30~15:00	羽咋市立 西北台小学校 (5)	ホクリクサンショウウオの生息 環境や保護活動の必要性に ついて	架谷 成美	7 人
合 計					250 人

## ② 公民館(7館9講座)

	日 時	公民館	演 題	講 師	参加人数
1	7月28日(月) 10:00～11:10	金沢市 千坂公民館	加賀百万石の成り立ちと文化	小松市立博物館 参事 坂下 雅子	42 人
2	8月2日(土) 10:00～11:00	珠洲市立 直公民館	石川県の人間国宝	元石川県立美術館 学芸員 南 俊英	中止
3	8月7日(木) 13:30～15:00	津幡町 井上公民館	石川県の人間国宝	元石川県立美術館 学芸員 南 俊英	13 人
4	8月9日(土) 9:00～12:00	白山市立 館畑コミュニティ センター	九谷焼絵付け体験	九谷焼作家 伝統工芸士 糠川 孝之	15 人
5	9月4日(木) 13:30～15:00	津幡町 井上公民館	石川県の遺跡から見た歴史	津幡町文化財保護審議会 会長 芝田 悟	15 人
6	10月2日(木) 13:30～15:00	津幡町 井上公民館	「義経記」にみる津幡の義経	洞庭 昭彦	14 人
7	10月8日(水) 10:00～11:30	野々市市 中央公民館	石川の文学 加賀を訪れた松尾芭蕉	金沢学院大学文学部 名誉教授 柳澤 良一	30 人
8	10月19日(日) 10:20～11:20	金沢市 四十万公民館	加賀百万石の成り立ちと文化	小松市立博物館 参事 坂下 雅子	40 人
9	10月30日(木) 10:00～11:30	小松市 安宅公民館	北前船の基礎知識と加賀の四大船主	全国北前船研究会 副会長 見附 裕史	15 人
10	12月4日(木) 13:30～14:30	川北町 中央公民館	能登牛の現状について	石川県農林水産部畜産振興・防疫 対策課 小橋川 寛	15 人
合 計					199 人

### 事業の評価(成果・課題)

出前講座は今年度で13年目となる。専門の講師が小中学校や公民館に赴いて、石川の文化・歴史・自然・産業等に関する学びのニーズに応じたテーマの講座を実施している。

今年度は、小中学校から3校4講座、公民館から8館10講座の申し込みがあった。昨年度より、小中学校は1校1講座の減、公民館は3館4講座の増となった。

立案から実施までのすべてを施設側が行い、経費の一部のみを当センターが負担している。講師選定は、希望があった場合のみ、当センターが行っている。小中学校へは講師派遣に係る旅費を、公民館へは講師謝金と旅費を、当センターが負担している。

受講者アンケート結果は、テーマ、講師共に「とても良かった」が100%であり、大変好評であった。アンケートの自由記述を見ても、小中学校、公民館とも、ほぼすべてが肯定的な意見・感想であった。ふるさと石川への愛着と誇りを持つことができるという目標は達成されているようである。

## (7) あすなろ悠々塾

### 趣 旨

県民の生涯学習支援という観点から、広く一般県民を対象に、生涯学習活動などを通して学んだ成果を生かして講座の講師となる機会を提供し、その成果が社会に生かされることを目指す。

### 対 象

一般

### 会 場

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム、教室1

### 日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	5月10日(土) 14:00～15:30	生活講座 住まいの修繕や片付けなどの維持管理方法	小坂 宗義	45人	13人
2	5月28日(水) 14:00～15:30	歴史講座 前田氏百万石への階段～能登三大合戦と利家の能登統治～	砂田 武嗣	45人	46人
3	6月5日(木) 14:00～15:30	産業講座 進化する九谷焼～新しい透明赤絵具の開発を通じて	三宅 幹夫	45人	13人
4	6月12日(木) 14:00～15:30	生活講座 初心者のためのアイスコーヒー講座	雄谷 栄子	20人	17人
5	6月19日(木) 14:00～15:30	文化講座 オカリナで健体康心	上村 彰	45人	13人
6	6月25日(水) 14:00～15:30	自然講座 ランの不思議	日尾 章	45人	7人
7	6月30日(月) 14:00～15:30	生活講座 孫は天才！才能開花には？祖父母の役割とは？	松崎 洋子	45人	7人
8	7月17日(木) 14:00～15:30	歴史講座 北国街道「近世の旅と街道の宿」	大刀祢 聖史	45人	31人
9	7月24日(木) 14:00～15:30	生活講座 点訳と朗読から学んだこと「出会い」	三隅 美和子	45人	8人
10	8月1日(金) 14:00～15:30	健康講座 人生を楽しめば、介護がうまくいく！	中田 有博	45人	5人
11	8月7日(木) 14:00～15:30	生活講座 がん防災を学ぶ！～がんを知り、がんに備えましょう	倉元 昭彦	45人	16人
12	8月27日(水) 14:00～15:30	心理講座 自分をより良く知って、人と上手く付き合おう！	塚本 茂樹	45人	2人
13	8月30日(土) 14:00～15:30	生活講座 ゴキゲン人生を過ごすために～自分の取扱説明書を作りましょう～	蔵 都	45人	7人
14	9月2日(火) 14:00～15:30	健康講座 人生100年時代～健康長寿で楽しく生きる～	岸 弘市	45人	10人
15	9月11日(木) 14:00～15:30	生活講座 スッキリ暮らす整理収納の基本～防災・減災の視点～	田中 由美子	45人	18人
16	9月24日(水) 14:00～15:30	生活講座 ウェルビーイング(永く続く幸せ)実践	山本 哲夫	45人	7人

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
17	10月3日(金) 14:00～15:30	産業講座 物流インフラの要所、金沢港の姿とその仕組み	末村 春男	45人	9人
18	10月7日(火) 14:00～15:30	健康講座 認知症の現状と予防・対策	竹下 知子	45人	15人
19	10月15日(水) 14:00～15:30	自然講座 トキ復活？2026年度、能登半島にトキ放鳥決定	西屋 馨	45人	10人
20	10月22日(水) 14:00～15:30	歴史講座 平安時代の和歌、特に「恋の歌」について	後藤 朗	45人	15人
21	10月30日(木) 14:00～15:30	生活講座 色で広がるコミュニケーションで元気にいきいきと！	渋谷 夏代	45人	8人
22	11月6日(木) 14:00～15:30	生活講座 世界の国旗	野村 泰裕	45人	14人
23	11月11日(火) 14:00～15:30	生活講座 日々是「好日」	西本 宗之助	45人	16人
24	11月18日(火) 14:00～15:30	心理講座 6つのタイプ別コミュニケーション講座	安谷 英記子	45人	8人
25	11月26日(水) 14:00～15:30	歴史講座 台湾近代化に貢献した日本人と台湾を救った将軍	谷口 和男	45人	16人
合 計				1100人	331人

#### 事業の評価(成果・課題)

この事業は、受講者と講師が共に成長していく講座として定着しており、今年度は25講座を実施した。

受講者数は331名であり、30講座654名であった昨年度と比較すると半減している。その主な要因として、講座数の減(30講座→25講座)、なかでも特に受講者の人気の高い歴史講座を開催していた3名の方が、ご都合により講師を辞退されたこと(該当3講座の受講者数計126人)、申し込み方法の変更(2、3か月分まとめて申し込み可→翌月分のみ申し込み可)、猛暑による高齢者の外出控え(キャンセル)などが考えられる。よって、来年度は講座数やチラシ、土曜開催を増やすとともに、申し込み方法も従来どおりに戻すこととしたい。

受講者からは、「大変分かりやすく、受講者からの質問も活発でよかった」「自分のことを深堀りできてよかった。素晴らしい学びの場をありがとう」「各古文書より客観的に考察しており、たいへん良かった」など、好評の声が多く寄せられている。

来年度も受講者の増を目指すとともに、ボランティア講師のプレゼンスキル等が高まり、各々の力をより一層発揮できるよう、生涯学習センターとして支援に努めたい。

(8) あすなろ悠々塾講師養成研修

趣 旨

一般県民が生涯学習や社会活動に基づく研究成果を発表する「あすなろ悠々塾」において、次年度の講師となるために、その資質の向上を目指す。

応募者、修了者

応募者1名、修了者1名

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

	日 時	内 容	講 師	履修	定員	参加者
1	7月2日(水) 13:30～15:30	プレゼンテーションの基本	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝	必修	10人	1人
2	7月9日(水) 13:30～15:30	スピーチプレゼンテーションの技法	NPO法人キャリアネットワーク北陸 理事長 岡野 絹枝		10人	1人
3	7月16日(水) 13:30～15:30	講師に求められる資質	(株)できる 代表取締役 杉本 嵩龍		10人	1人
4	7月23日(水) 13:30～15:30	チラシの魅せ方	銅版画家・文筆家 三宅 エミ		10人	1人
5	令和7年度「あすなろ悠々塾」聴講 ※下記の「あすなろ悠々塾」講座番号10～15の中から1つ聴講し、聴講記録を提出			選択		1人
	8月1日(金)	あすなろ悠々塾 講座番号10	人生を楽しめば、介護がうまくいく！			
	8月7日(木)	// 講座番号11	がん防災を学ぶ！～がんを知り、がんに備えましょう			
	8月27日(水)	// 講座番号12	自分をより良く知って、人と上手く付き合おう！			
	8月30日(土)	// 講座番号13	ゴキゲン人生を過ごすために～自分の取扱説明書を作りましょう～			
	9月2日(火)	// 講座番号14	人生100年時代～健康長寿で楽しく生きる～			
	9月11日(木)	// 講座番号15	スッキリ暮らす整理収納の基本～防災・減災の視点～			
6	11月14日(金) 13:30～15:30	企画書発表会		必修	10人	1人

事業の評価(成果・課題)

今年度は、応募者、修了者ともに1名であった。なお、受講者アンケートには、毎回「よかった」との記載があった。

これまで本研修で学んだ後、あすなろ悠々塾の講師として活躍されている方は多数おり、一定の成果はあったものの、受講者の減少と大学院講師養成コースの見直しに併せて今年度で廃止する。

その代替として大学校の講座として創設される「生涯学習リーダーズアカデミー」において引き続き、生涯学習講師を目指す県民を支援していく。

## (9) 人権講演会

### 趣 旨

社会教育における人権教育活動の一環として、人権尊重の理念について県民の理解を深めるとともに、人権意識を高めていくための学習機会を提供する。

### 対 象

一般及び公民館職員基礎研修受講者

### 会 場

石川県立生涯学習センター第1会議室

### 日 程

日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
7月29日(火) 13:00～15:00	人権講演会 「障害者を含めた共生社会の実現を一弁護士として、そして障害者運動の経験から」	日本視覚障害者団体連合 会長／弁護士 竹下 義樹	150人	89人

- (注) ・公民館職員基礎研修と合同開催  
・参加人数内訳：公民館職員基礎研修42人、一般47人（うち学校関係者3人）

### 事業の評価(成果・課題)

平成20年の人権講演会の講師でもあった竹下義樹氏にお話しいただいた。妻の竹下壽子氏が付き添いとして同行された。

輪島市出身で、日本初全盲の弁護士ということもあり、開催前には、講演会の紹介記事が新聞に掲載された。また、実施後、別の新聞には記事として大きく取り上げられるとともに、県教委の生涯学習講座「ふれあい空間いしかわ」のテレビ番組としても製作された。

受講者に障害者を想定し、新たに以下の対応をとった。

- ①会場は1階の第1会議室(例年は、2階の第2会議室) ②手話通訳(生涯学習課に依頼) ③UDトークで音声字幕 ④申し込みフォームに障害者対応の項目追加

今回は、全盲の方の参加もあった。講座のインクルーシブ化は、今後も検討していきたい。

竹下氏は、弁護士になるまでの道のり、弁護士として大切にしていること、そして「共生社会」に向け、他者を尊重する姿勢の大切さを語られた。

公民館関係者からは「心のバリアフリーを常に心に置き、障害のある方がお一人で参加できる講座や場所を作っていきたい」、一般参加者からは「初めから最後まで、非常に濃い、大事なメッセージをもらった」「自分の偏見、心を洗い直す機会になり、改めて、先駆者、竹下先生に敬意を表します」などの感想が聞かれた。アンケートでは「全体として満足できた」の項目で92%が「十分」・「概ね」と回答しており、参加者の満足度が高い講演であった。

次年度も、公民館職員基礎研修と合同で実施する。テーマや内容を吟味し、さらなる充実を図りたい。

## (10) 世界理解講座

### 趣 旨

日本人学校教師として、海外に長期間滞在して、現地に精通した講師による講座を開設し、県民がこの講座を通して世界各地のことを学び、国際理解を深めるための一助とする。

### 対 象

一般

### 会 場

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム

### 日 程

	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	10月21日(火) 14:00～15:30	世界そのまんま① 「オーストラリアのゆかいな生き物たち ～動物編～」	元シドニー日本人学校・教諭 松浦 直裕	45人	11 人
2	10月31日(金) 14:00～15:30	世界そのまんま② 「トルコを旅する」	元イスタンブル日本人学校・教諭 澤田 祐一	45人	30 人
3	11月5日(水) 14:00～15:30	世界そのまんま③ 「ライフインシカゴ」	元シカゴ日本人学校・校長 澤田 岩男	45人	16 人
4	11月13日(木) 14:00～15:30	世界そのまんま④ 「赤道直下 ジャワ島の香りより」	元ジャカルタ日本人学校チカラン校・教頭 三野 州豊	45人	28 人
5	11月21日(金) 14:00～15:30	世界そのまんま⑤ 「ようこそ！ シンガポールの世界へ」	元シンガポール日本人学校小学部 チャンギ校・教諭 浪元 健司	45人	15 人
			計	225人	100 人

### 事業の評価(成果・課題)

昨年度より1回少ない全5回の実施となった。昨年度から引き続いてのオーストラリア、トルコ、インドネシア、シンガポールの4カ国に、新たにアメリカの1カ国が加わった。

参加者数は、昨年度の179人から44%減の100人となった。開催回数が6回から5回へと減少したことも参加者数減少の一因であるが、1回あたりの平均参加者数をみても昨年度の29人から20人と減少がみられる。

参加者へのアンケート結果では、「興味を持てる内容である」、「全体として満足できた」の項目で、「A:十分」「B:概ね」の合計がそれぞれ99%、98%と高い評価を得ている。

また、アンケートの自由記述には、楽しかった、勉強になった、行きたくなった、もっともっと聞きたくなった。など好意的な意見が多く、世界について学びを深める場として今後とも継続していきたい講座である。

参加者の年齢層を見ると、60代以降が約9割であり、その多くはチラシ、案内冊子からの認知となっている。若年層の参加も増やすためには、上記の認知ルートに加え、より効果的な広報について検討していく必要があると思われる。

(11) 兼六ビデオ講座

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するビデオ教材を活用し、映像を通して本県を含め幅広く我が国の歴史や文化について学ぶ機会とする。

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

・ 1期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	6月 3日(火) 13:45～15:45	ふれあい空間いしかわ 北前船の里に受け継がれる 伝統～安宅まつり～小 松市(2017年制作)	いしかわ大百科2004 ふるさと探訪シリーズ・名 木のある街 兼六園～巨木名木物語 ～	小さな世界はワンダーラ ンド(2014制作) ①ミニミニ大作戦	48 人	11 人
2	6月10日(火) 13:45～15:45	” 手作りの卒業証明書を ～紙工房みわ会～能登 町(2018年制作)	” 加賀温泉郷に名木あり	” ②秘密の森	48 人	11 人
3	6月17日(火) 13:45～15:45	” 奥能登で深まる絆～天 領庄屋中谷家～能登町 (2018制作)	” 県木アテのふしぎ	” ③コンクリートジャングル	48 人	9 人

・ 2期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	6月24日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2022 シリーズ・未来を創る人た ち 里山に元気を！ ～立山会の挑戦～	いしかわ大百科2009 シリーズ・ふるさとの響き 金沢ことばあそび	ヨーロッパの食文化 (2000年制作) 黄金時代のフランス料理 ～エスコフィエと美食神 話～	48 人	10 人
2	7月 1日(火) 13:45～15:45	” 海洋ゴミ ～変えるデザイン～	” 能登の奇祭・祈りの音	” クリストフ・マルガンの伝 統料理～現代フランスの 料理事情～	48 人	9 人
3	7月 8日(火) 13:45～15:45	” 自然とともに生きる ～珠洲・現代集落～	” 能登しごとうた	” ペリゴールの秋のはなむ け～貴腐ワイン、フォアゲ ラ、トリュフ～	48 人	12 人
4	7月15日(火) 13:45～15:45	” 食べて健康 ～カラー野菜～	” 春を呼ぶ加賀の神事	” 主役はいつも大きなテー ブル～食卓画を読む～	48 人	10 人
5	7月29日(火) 13:45～15:45	” 渡り鳥の越冬地 ～冬水田んぼ～	” うたい継ぐわらべ唄	” 木村尚三郎のシチリア食 紀行～地中海式食事法 ～	48 人	12 人

・ 3期

番号	日 時	内 容(演 題)			定員	参加人数
1	9月9日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2022 シリーズ・未来を創る人 たち 集まれ建設女子！ ～百万石小町「結」～	いしかわ大百科2000 石川20世紀の偉人シ リーズ 前大峰 ～人間国宝の技～	東大寺大仏殿 昭和大 修理(2018年制作) ①須屋根覆屋建設	48人	9人
2	9月30日(火) 13:45～15:45	” ジビエを活かす ～女性ハンター・狩女の 会～	” 東善作 ～日本のリンドバークと 呼ばれた男～	” ②屋根解体・修理	48人	10人
3	10月7日(火) 13:45～15:45	” 捨てずにおいしく ～アップサイクルスイー ツ～	” トーマス・C・ウイン ～博愛の使者～	” ③し尾・鬼瓦作成・修復完 成	48人	9人

・ 4期

1	10月21日(火) 13:45～15:45	いしかわ大百科2021 シリーズ・つなぐ ～残したい手仕事～ より強く より長く～小松 瓦がきらめく街並み～	いしかわ大百科2000 石川20世紀の偉人シ リーズ 高橋ふみ～未完の女性 哲学者～	富山県の歴史・自然・文 化 富山の葉が生んだ信頼 の絆～とやま売薬物語 ～(2015制作)	48人	8人
2	10月28日(火) 13:45～15:45	” イ草が薫る～畳の温もり ～	” 松本佐一郎～加賀野菜 の父～	” とやま「鉄道」物語～とや まの近代化と鉄道の発展 ～(2015年制作)	48人	9人
3	11月11日(火) 13:45～15:45	” 文化の街に息づく～表 具師の技～	” 芦田高子～時事を詠む 歌人～	” 富山湾～美しい湾を未来 につなぐ～(2017年制作)	48人	11人
4	11月18日(火) 13:45～15:45	” 祈りを込めて～能登の蓬 菜～	” 20世紀の石川の偉人た ち	” 富山の曳山～「世界の 宝」を守り続ける～(2018 年制作)	48人	9人
1期から4期までの合計					720人	149人

事業の評価(成果・課題)

今年度も4期に分けて実施した。

県民大学校放送利用講座として放映された「いしかわ大百科」からは27本、「ふれあい空間いしかわ」からは6本を上映した。いずれも、石川県の歴史・文化を学び、郷土についてより深く知りたいという県民のニーズに十分応え得る内容であり、受講生からも好評であった。

「小さな世界はワンダーランド」、「ヨーロッパの食文化」、「東大寺大仏殿 昭和大修理」、「富山県の歴史・自然・文化」の各シリーズについては、いずれもユニークな内容で、毎回楽しく学ぶことができたなどの感想があった。

当センター視聴覚ライブラリーでは良質の映像教材を数多く所蔵しており、これらの教材を活用した学習機会の提供は重要であるので、今後とも、受講者の関心を引き出すような配慮をして実施していきたい。

## (12) 本多の森シネマアーカイブ

### 趣 旨

当センター視聴覚ライブラリーが所蔵するVHSビデオの貴重な映像教材を活用し、過去の自然、文化、歴史、人権、芸術等を学ぶ機会とする。

### 対象

一般県民

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	定員	参加人数
1	12月4日(木) 13:45～15:30	①極める日本の美と心 京都の名刹 鞍馬寺 ②新世界紀行 歴史街道編 アンダルシア街道	20 人	9 人
2	12月 11日(木) 13:45～15:30	①極める日本の美と心 京都の名刹 高山寺 ②新世界紀行 歴史街道編 大サハラ・古代戦車の道	20 人	10 人
3	12月18日(木) 13:45～15:30	①極める日本の美と心 京都の名刹 銀閣寺 ②新世界紀行 歴史街道編 ナポレオン街道	20 人	13 人
4	1月8日(木) 13:45～15:30	①昭和30年代の生活と文化 北海道編 ②近代日本の建築・土木を担った人びと 明治建築をつくった人びと	20 人	12 人
5	1月15日(木) 13:45～15:30	①昭和30年代の生活と文化 東北編 ②近代日本の建築・土木を担った人びと 民衆のために生きた土木技術者たち	20 人	10 人
合 計			100 人	54 人

### 事業の評価(成果・課題)

貴重な映像を県民の方々に見ていただけた。他では見る機会が少ない映像の数々であり、貴重な体験をしていただけたと思う。当センター視聴覚ライブラリーでは、今後もこのようなVHSテープを大切に保管し、貴重な映像を後世に伝えていきたいと考えている。

### (13)本多の森シアター

#### (夏の子ども映画会)

#### 趣 旨

映画鑑賞を通して、子どもの豊かな心の育成と、家庭内コミュニケーションの促進を図る。

#### 対象・定員

幼児、小学生及び保護者

#### 会 場

石川県立生涯学習センター

#### 日 程

番号	日 時	内 容	定員	参加人数
1	8月6日(水) 10:45~12:00	①「フレンドリー・バニーマイロ マイロと自転車 おぼけが出た」 ②「バラモンとトラとジャッカル」(人形劇) ③「エリックカールコレクション はらぺこあおむし(ほか4作品)」	60人	14人
	同日 13:45~15:00	①「おしりたんてい ププッ とこやさんにうかぶゆうれい」 ②「日本民話 たにし長者」(人形アニメ) ③「かんすけさんとふしぎな自転車」	60人	20人
2	11月3日(月・祝) 10:30~11:30	①「レオ・レオニ 5つの作品集」 ②「アニメ ハチ公物語」	60人	40人
	同日 14:00~15:00	16ミリフィルム映画「まんが日本昔ばなし」 ①風の神とこども ②キジも鳴かずば ③タヌキと彦市 ④塩ふきうす ⑤三年寝太郎	48人	21人
合 計			228人	95人

#### 事業の評価(成果・課題)

今年度は、夏の映画会に加えて、マナビフェアにあわせた秋の映画会を実施した。そのため、参加人数は昨年度の44人から大幅な増加となった。当映画会は、子どもたちに良質の映像作品を視聴してもらうとともに、家庭内でのコミュニケーションを促進する機会となっており、今後とも、こうした機会の提供を図っていきたい。

(秋の映画会)

趣 旨

当センター視聴覚ライブラリー所蔵の視聴覚教材の中から、貴重な記録映像や名作映画等を上映することによって、県民に生涯学習の機会を提供するとともに、視聴覚教材の貸出利用の促進を図る。

対 象

一般県民

会 場

石川県立生涯学習センター

日 程

番号	日 時	内 容	定員	参加人数
3	10月25日(土) 10:45～11:45	16ミリ映画 「能登路を行く」(1968年頃制作) 「手取川ダム」(1978年頃制作)	32人	12人
	同 13:45～16:00	「蝉しぐれ」	46人	13人
合 計			78人	25人

事業の評価(成果・課題)

今年度もマナビィフェアに併せて実施し、午前の部は昭和の県政上の重要プロジェクトを記録した16ミリ映画を、午後の部は、藤沢周平原作による同名の時代小説を映画化した作品を上映した。昨年度の参加者は13人であり、結果として上回る事となった。午前の部については、貴重な記録であり満足したとの感想が寄せられ、午後の部についても、概ね好意的な感想が寄せられた。今後とも、当館で所蔵する貴重な映像教材の活用を図るとともに、当館利用者のニーズに見合った作品の上映を検討したい。

### 3 学習情報・教材提供

#### (1) 石川県生涯学習情報提供システム(あいあいネット)

##### 業務内容

県民の多様な生涯学習ニーズに対応した「講座案内」、「講師案内」、「視聴覚教材情報」、「ふるさと情報」、「イベント情報」の提供をインターネット上でやっている。

また、県制作DVD「今蘇る石川の記録映像」の映像配信及び当センター主催の「ふるさとモット学び塾」講座の動画配信も行っており、幅広く県民の要望に応えるべく、充実した生涯学習情報の提供に努めている。

##### 対象

一般県民

##### 運用

サーバーを県庁内ネットワーク管理室に設置し、石川県立生涯学習センターと専用回線で接続して、24時間運用している。

##### 提供情報

<データベース>

区分	内容
講座案内	県内で開催予定の各種講座・講演会等（県民大学校分を含む）
講師案内	講演会・学習会等の講師や地域の指導者
視聴覚教材情報	県生涯学習センターと金沢市教育プラザ富樫が保有する、16ミリフィルム・VHSビデオ・CD・DVD教材
ふるさと情報	県内の名所・史跡・名物・祭り・観光コース等
イベント情報	県内の各種事業・イベント・催し物等
映像	今蘇る石川の記録映画（16ミリフィルムに記録された昔の石川県）
	県生涯学習センター開催の講座「ふるさとモット学び塾」の講座ビデオ

#### 「あいあいネット」(県生涯学習情報提供システム)年間アクセス件数（令和8年3月31日現在）

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
アクセス件数	11,100	8,165	6,265	7,741	10,015

## (2) まなびすとルーム

### 業務内容

ルーム内に、学習スペース・視聴覚ライブラリー・県企画展示コーナー(マナビィコーナー)・生涯学習関係刊行物等の閲覧コーナーを有し、広く県民に対して生涯学習に関する会場の提供・情報提供及び、学習相談、学習成果のPRを行っている。

### 対 象

地域における社会教育関係団体等の職員及び一般県民

### 開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

### 場 所

石川県立生涯学習センター2階

## (3) 視聴覚ライブラリー

### 業務内容

視聴覚教材(DVD・CD等)の整備・貸し出しを主な業務とし、映像を通して県民の生涯学習活動の推進を図る。

### 対 象

県内の公民館・学校などの団体  
県内在住または在勤の個人の方(高校生以上)

### 開館日・時 間

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

### 場 所

石川県立生涯学習センター2階 まなびすとルーム

### 視聴覚教材保有状況

(令和8年3月31日現在)

区分 \ 本数	令和6年度	令和7年度		合 計
		購 入	寄 贈・その他	
16ミリフィルム	1,556 本	0 本	0 本	1,556 本
ビデオテープ	5,928	0	0	5,928
CD	822	0	0	822
DVD	2,565	43	46	2,654

### 利用状況

(令和8年3月31日現在)

区分 \ 本数	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数	本数	鑑賞者数
16ミリフィルム	0	0	0	0	8	327	36	803	12	312
ビデオテープ	26	257	16	247	20	248	19	267	16	222
CD	149	1,354	195	1,063	210	802	251	389	230	394
DVD	1,136	4,219	1,448	4,848	1,138	4,152	1,397	3,693	1,042	2,737



## (5) 県民企画展示(マナビィコーナー)

### 趣 旨

当センター内に展示コーナーを設け、生涯学習に取り組む県民の学びの成果を披露する場とする。  
これにより、生涯学習に取り組む人達のさらなる意欲の向上や、展示発表を交流の場として活用することで、生涯学習に取り組む人の増加を図る。

### 対 象

一般県民

### 日 時

年末年始を除く毎日 9:00～18:00

### 場 所

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容	資料提供・展示協力
1	4月 4日(金)～ 4月25日(金) 9:00～18:00	城南公民館 パッチワーク&キルト教室作品展	金沢市城南公民館
2	5月 3日(土)～ 5月31日(土) 9:00～18:00	布絵本作品展	ボランティアサークル おもちゃ箱
3	6月 4日(水)～ 6月17日(火) 9:00～18:00	粘土の花(クレイフラワー)	クレイアート・ネギシ
4	7月 1日(火)～ 7月27日(日) 9:00～18:00	石川県愛瓢会作品展	石川県愛瓢会
5	8月 1日(金)～ 8月29日(金) 9:00～18:00	鶴寿園陶芸OB会作品展	鶴寿園陶芸OB会
6	9月 2日(火)～ 9月30日(火) 9:00～18:00	石川県民大学校 美川刺繍教室作品展	石川県民大学校 美川刺繍教室
7	10月11日(土)～11月 9日(日) 9:00～18:00	第6回鉄道写真展	第6回鉄道写真展 実行委員会
8	11月10日(月)～11月28日(金) 9:00～18:00	第44回石川県児童・生徒俳句大会 入選作品展	石川県俳文学協会
9	12月 1日(月)～ 3月31日(火)	改修工事のため休館	

### 事業の評価(成果・課題)

個人や団体の創作や学習活動の成果を広く県民に紹介する場として利用されている。今年度は、クレイフラワー、刺繍、写真、陶芸、俳句など幅広い分野にわたる展示が行われ、生涯学習について知ってもらう事に繋がった。また、どの作品も作者の気持ちが伝わり、意欲的に活動に励む姿勢を伺い知ることができた。今後とも、県民の方々に生涯学習の情報の提供ができる場となるよう工夫とPRに努めていきたい。

## 4 指導者養成・研修

### (1) 公民館職員基礎研修(公民館長基礎研修・公民館主事基礎研修)

**趣 旨** 生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する基礎的な知識及び技術の修得を図る。

**対 象** 公民館長及び公民館主事等

**会 場** 石川県立生涯学習センター、オンライン、県立図書館研修室

**日 程**

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月24日(火) 10:00~12:00	人々の生涯学習を応援する意義と 職員の役割	金沢美術工芸大学 教授 桑村 佐和子	60人	47人
	13:00~13:30	公民館で学んでつながる	石川県公民館連合会 会 長 竹上 勉		
	13:30~15:00	公民館実践発表	珠洲市立正院公民館 館 長 小町 康夫		
			野々市市富奥公民館 主 事 西谷 真須美		
2	7月4日(金) 10:00~12:00	災害時における公民館等の避難所 での生存権保障	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	60人	45人
	13:00~15:00	障害のある人と共に生きる地域づくり	金沢大学 教 授 吉村 優子		
3	7月29日(火) 10:00~12:00	公民館のSDGs ～SDGsカードゲーム体験～	株式会社LODU 執行役員 CTO/CIO 金沢工業大学 研究員 鈴木 健斗	60人	42人
	13:00~15:00	人権講演会 障害者を含めた共生社会の実現を 一弁護士として、そして障害者運動 の経験から	日本視覚障害者団体連合会長 弁護士 竹下 義樹		
4	8月27日(水) 10:00~12:00	防災施設としての役割と実践	NHK金沢放送局 気象予報士 池津 勝教	60人	44人
	13:00~14:30	SNSを安全に利用するために	まるおかデジタル株式会社 代表取締役社長 佐藤 英治		
	14:30~15:00	公民館実践発表(SNSの活用)	金沢市旭日公民館 主 事 川田 亜紀子		
5	9月16日(火) 10:00~12:00	地域づくりを担う方のための場づくり 講座	場作り研究所B. A labo 代 表 香林 せいこ	60人	35人
	13:00~15:00				
合 計				300人	213人

(注) ・第1日・第2日は必修講座

・第1日・第2日は、市町生涯学習担当者基礎研修第1日・第2日と合同開催

(市町生涯学習担当者基礎研修参加者は第1日16人、第2日13人)

・第3日午後の「人権講演会」は、一般公開(参加人数は公民館関係42人＋一般・学校関係者47人)

・第1日・第4日は、Zoomによるオンライン研修 第2日の会場は県立図書館研修室

### 事業の評価(成果・課題)

受講申込者は49名、うち館長21名、主事等21名の計42名が修了した。

今年度は、第2日午前の浅野氏の講義を災害と社会教育との関わりの内容に、午後はこれまでのいしかわ地域づくりイントの演習を、障害者の生涯学習推進の内容にそれぞれ変更した。障害者の生涯学習推進について昨年度は専門研修で行ったが、基礎研修に移行した。今回初めて県立図書館で実施したが概ね好評であった。

5回の研修のアンケートの平均を昨年度と比較すると、「今後に生かせるか」(十分当てはまる)53.6%→47%、「満足か」(十分当てはまる)57.2%→52%であり、数値は多少落ちたが、(概ね当てはまる)を合わせると、いずれも98%を超えている。今後に活かせる内容としては昨年に引き続き第5日の講座が突出していた(十分当てはまる77%)。他の講座は30～50%。今後も受講者のアウトプットの場を設定し、理解度・満足度を高め、実践につなげたい。アンケートをGoogleフォームでなく、紙で提出する受講生は減少傾向にある。

なお、Zoomによるオンライン研修について、実施中は特にトラブルはなかったが、合同視聴で、出欠確認ミスの連絡が後日市町よりあった。特に白山市・珠洲市は合同受講する人数が多い。来年度、合同視聴の場合は、市町担当者に出欠確認をしっかりと行ってもらう旨、伝えたい。また第4日の佐藤氏に、今年は福井からオンラインで講義していただいた。今後もオンライン研修に慣れている講師には、センターに来館せずに講義する選択を入れていきたい。

昨年度からの改善点は、Zoomによるオンライン研修を講師の許可を得て録画し、欠席者が視聴することで出席扱いにしたことである。のべ5名の視聴による受講があった。録画視聴の受講者から、「わかりにくい部分を何度も確認出来て参考になった。配信をもっと増やしてもいいかも」という意見があった。

研修日程は、9月中旬で終了するよう計画したが、特に問題はなかったため、来年度も同様の日程でオンライン2日、対面3日を実施する。

(2) 公民館職員専門研修(公民館長専門研修・公民館主事専門研修)

趣 旨

生涯学習・社会教育で地域の拠点となる公民館の経営並びに事業に関する専門的な知識及び技術の修得を図る。

対 象

基礎研修を修了した公民館長及び公民館主事等

会 場

石川県立生涯学習センター、オンライン、石川県庁1102会議室

日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月25日(水) 10:00~12:00	社会教育・生涯学習の最新動向から公民館を考える	富山大学 名誉教授 藤田 公仁子	30人	16人
	13:00~16:00	多様な『つながり』で目指す持続可能な地域社会づくり			
2	8月29日(金) 10:00~12:00	災害対応サイクルで考える防災対策	災害支援・防災教育コーディネーター/社会福祉士 宮崎 賢哉	30人	9人
	13:00~16:00	避難所運営ゲーム(HUG)の実践			
3	9月18日(木) 10:00~12:00	障害のある人と共に生きる地域づくり	金沢大学 教 授 吉村 優子	30人	10人
	13:00~16:00	人は聞き方が9割 できる！効果的なファシリテーション	株式会社 できる 代表取締役社長 杉本 嵩龍		
合 計				90人	35人

(注)・第1日は必修講座。Zoomによるオンライン研修。

・第2日の会場は石川県庁 生涯学習・社会教育担当者等研修と合同開催

(参加人数は上記以外に、生涯学習・社会教育担当者等研修13人)

選択研修

4	5時間相当	ふるさと発見出前講座の申込み計画立案・実施・報告書
5	5時間相当	金沢大学市町共催公開講座の申込み計画立案・実施・報告書
6	15時間相当	ファシリテーター養成講座Aコース(3日間)
7	5時間相当	社会教育フォローアップ研修第1回・第2回(2日間)
8	5時間相当	いしかわ地域づくりシートの活用実践と報告書および作成シートの提出
9	5時間相当	月刊公民館ちゃんねる動画視聴・報告書(3本)

事業の評価(成果・課題)

受講申込者は17名、うち館長5名、主事4名の計9名が修了した。

今年度は、第2日の位置づけを変更した。昨年度までは「生涯学習・社会教育担当者等研修」と合同であったが、金沢大学社会教育研究振興会の研修の改編に伴い、今年度は「社会教育フォローアップ研修②」と合同とした。内容は、災害対応・防災とした。また、昨年度の第3日午前のSNS活用の実践を第2日にあった障害者の生涯学習の推進に変更した。障害者の生涯学習推進は専門研修から基礎研修に移行するため、来年度は内容を公民館のコミュニティーデザインに変更する。

今年度の改善点として、Zoomによるオンライン研修を講師の許可を得て録画し、欠席者が視聴することで出席扱いにした。3名の視聴による受講があった。

昨年度より、主事が1年間で修了できるよう、選択研修を新設したが、今年度は3名の利用があり、うち2名が1年間で修了した。

第2日の災害対応・防災は、実践的な演習や話し合いが多い参加型であったためか、「満足か」(十分当てはまる)94%で評価が高かったが、社会教育フォローアップ研修と合同であるため、来年は別の内容・あるいは講師にする必要がある。

3回の研修アンケートの平均を昨年度と比較すると、「今後に生かせるか」(十分当てはまる)53.3%→60.7%、「満足か」(十分当てはまる)75.3%→71.7%であった。

受講者数は昨年度の7名から17名に増加し、能登半島地震前の水準にほぼ戻ったが、もう少し受講者数を増やすこと・申し込みが一部の市町に偏っていることが、引き続き課題である。

### (3) ファシリテーター養成講座

#### 趣 旨

地域や職場等で直面している問題に取り組むため、市町職員、公民館職員、NPO職員にファシリテーターとしての知識及び技能の修得を図る。

#### 参加対象

県・市町職員、公民館職員、NPO職員

#### 会 場

石川県立生涯学習センター まなびすとルーム、教室1

#### 日 程

##### 【Aコース】

	日 時		内 容	講 師	定員	参加人数
1	7月10日(木)	10:00~16:00	Aコース ①	橋行政書士事務所 行政書士 橋 泰至	20人	12人
2	7月11日(金)	10:00~16:00	〃 ②	〃	20人	12人
3	7月12日(土)	10:00~16:00	〃 ③	〃	20人	11人
合 計					60人	35人

##### 【Bコース】

	日 時		内 容	講 師	定員	参加人数
1	9月4日(木)	10:30~16:30	Bコース ①	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	20人	17人
2	9月5日(金)	10:00~16:00	〃 ②	〃	20人	17人
3	9月25日(木)	13:00~16:00	〃 ③	生涯学習センター職員	20人	12人
4	9月26日(金) ~11月14日(金)		実地体験(各自)	—	20人	17人
5	11月27日(木)	10:30~16:30	Bコース ④	発創デザイン研究室 代表 富永 良史	20人	17人
合 計					100人	80人

#### 事業の評価(成果・課題)

今年度の申込者数はAコース12人、Bコース17人で、昨年度よりAコースが25人減、Bコースが12人減となった。Aコース、Bコースの両方を修了したのは6人で昨年度より5人減少した。

受講者に本講座のことをどうやって知ったか尋ねると、Aコースは「友人知人の勧め」26%、「県公式LINE」18%、「広報いしかわ」16%、Bコースは「友人知人の勧め」29%、「県民大学校受講冊子」18%であった。平成20年度開講の本講座は今年度で17年めとなり、修了者も260人を越え、その認知度も深まった結果、「友人知人の勧め」の割合が高いものと考えられる。

アンケート結果では、「全体として満足できた」の問いに対して、「十分」「概ね」との回答が両コースともに100%となり、大変好評であった。受講者からは、「講義では体得できない内容であり、ワークを通し学びが多くなった。もっと学びたい、つながりたいと感じた。いろんな立場、職種の方と交わることができ、刺激になった」「参加者全員が真面目に学ぼうとする気持ちをお持ちだと感じられた。とてもレベルが高いと思った」などの感想が寄せられた。

次年度は、大学校に新設する「生涯学習リーダーズアカデミー」の講座の中に組み込み、Aコースを「ファシリテーション入門」、Bコースを「ファシリテーション発展」に改称する。今後も社会教育・生涯学習をリードする人材を育成する講座として、県民の更なるニーズに応じていきたい。

#### (4) 市町生涯学習担当者基礎研修

##### 趣 旨

本年度、市町の生涯学習担当課、市町の生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の職員になった者を対象に、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を図る。

##### 対 象

市町生涯学習担当課、市町生涯学習施設、県生涯学習課、県立生涯学習センター等の1年目の職員、若しくはそれに準ずる者及び希望者で原則として2日間受講できる者

##### 会 場

オンライン（石川県立生涯学習センター）、県立図書館研修室

##### 日 程

	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	6月24日(火) 10:00~12:00	人々の生涯学習を応援する意義と職員の役割	金沢美術工芸大学 教 授 桑村 佐和子	30人	16人
	13:00~13:30	公民館で学んでつながる	石川県公民館連合会 会 長 竹上 勉		
	13:30~15:00	公民館実践発表	珠洲市立正院公民館 館 長 小町 康夫		
			野々市市富奥公民館 主 事 西谷 真須美		
2	7月4日(金) 10:00~12:00	災害時における公民館等の避難所での生存権保障	金沢大学 名誉教授 浅野 秀重	30人	13人
	13:00~15:00	障害のある人と共に生きる地域づくり	金沢大学 教 授 吉村 優子		
合 計				60人	29人

(注)・6月24日は、公民館職員基礎研修第1日と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修47人)

・7月4日は、公民館職員基礎研修第2日と合同開催(参加人数は、上記以外に公民館職員基礎研修45人)

##### 事業の評価(成果・課題)

2日間とも公民館職員基礎研修と合同で開催した。

第1日はZoomでのオンラインで実施した。午前は「生涯学習を応援する意義と職員の役割」についての講義、午後は公民館からの実践報告が行われた。

今年度は、第2日午前の浅野氏の講義を災害と社会教育との関わりの内容に、午後はこれまでのいしかわ地域づくりシートの演習を、障害者の生涯学習推進の内容にそれぞれ変更した。

受講者からは「何のために地域の人々に生涯学習を勧めるのか、行政職員として理解することや意識することに、これまであまり取り組んでこなかった。今日の講義を受けて、生涯学習がもたらす利益を知ることができた。これからは生涯学習が人、地域を豊かにするということを意識して仕事に取り組みたいと思った」「避難所の開設やその運営にあたり、行政として何ができるかを考える機会になった」などの感想があった。

本研修は、初めて生涯学習の担当となった行政職員にとって、生涯学習に関する行政や事業を推進するうえで必要な基礎的知識の修得を十分図るものとなっていると考える。

## (5) 16ミリ発声映写機操作技術認定講習会

### 趣 旨

学習教材として16ミリフィルムの活用を図るとともに、フィルム保全のため正しい映写技術の普及に努める。

### 対 象

一般県民 随時受付

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 内 容

16ミリ発声映写機操作技術認定講習(学科、実技)

### 講 師

石川県立生涯学習センター職員

### 日 程

日 時	時 間	参加人数
10月15日 (水)	10:00～15:45	2 人
12月16日 (火)	10:00～15:45	3 人
1月28日 (水)	10:00～15:45	3 人
3月17日 (火)	10:00～15:45	2 人
合 計		10 人

### 事業の評価(成果・課題)

講習日をなるべく限定せず、希望者の日程に合わせて実施し、映写技術の継承を図っている。16ミリ映画教材の利用継続のため、今後も講習実施の周知に努めたい。

## 5 マナビフェア in 本多の森 2025

### 趣 旨

いしかわ教育ウィーク（11月1日～7日）に合わせ、生涯学習に関する県民の理解を深め、生涯学び続ける気運を高める。

### 主 催

石川県立生涯学習センター

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 内 容

催 事 内 容		日 時	会 場	対象・定員	参加人数
展 示	県民大学校企画展(活動状況写真等)	10月25日(土) ～11月7日(金) 9:00～18:00	1階ロビー	一般	121人
	県民大学校能登校企画展(活動状況写真等)				
	県民大学校実施機関:石川県立自然史資料館展(館の紹介、企画展)				
	県民大学校実施機関:石川県埋蔵文化財センター展(館の紹介、企画展)				
	県民大学校実施機関:石川県生涯学習課(活動状況写真等)				
	県民大学校実施機関:美川刺繍教室作品展「刺繍で描く 能登の景色と営み」				
	珠洲市正院公民館展「能登半島地震における避難所運営」				
	金沢市菊川町公民館展「防災すごろく」				
	県民企画展示 鉄道写真展(10/11～11/9)				
石川県立自然史資料館実品展示「トキ(はく製)」等	まなびすとルーム (ショーケース)				
県民大学校ポスター展(過去の応募作品)	中2階通路				
実 演 ・ 販 売	ミニ・コンサート 合唱(小立野小学校5年生)	10月25日(土) 13:00～13:10	1階ロビー	一般	220人
	出張マルシェ(農産物の販売)	10月25日(土) 13:10～14:00			
	ミニ・コンサート ハンドベル演奏(北陸学院中学校ハンドベルクラブ)	11月3日(月・祝) 11:30～11:45			
体 験	美川刺繍体験教室	10月25日(土) 13:30～15:00	まなびすとルーム (学習スペース)	一般	20人
	組子でコースターを作ろう	11月3日(月・祝) 10:00～12:00		小学生と 保護者10組	19人
	3D万華鏡を作ろう	11月3日(月・祝) 14:00～15:00		小学生20人	37人
講 座 等	ふるさとふれあい講座(再掲) 「変化する北陸の方言～旧JR北陸本線沿線4世代調査の結果を中心に～」 講師:金沢大学名誉教授 加藤 和夫 氏	10月25日(土) 13:30～15:00	第1会議室	一般 150人	42人
	兼六ビデオ講座(再掲) いしかわ大百科2021 シリーズ・つなぐ残したい手仕事「イ草が薫る～畳の温もり～」 いしかわ大百科2000 石川20世紀の偉人シリーズ「松本佐一郎～加賀野菜の父～」 富山県の歴史・自然・文化「とやま「鉄道」物語～とやまの近代化と鉄道の発展～」	10月28日(火) 13:45～15:45	第3会議室	一般 48人	9人

催 事 内 容		日 時	会 場	対 象・定 員	参 加 人 数
講 座 等	世界理解講座 世界そのまんま②（再掲） 「トルコを旅する」 講師：元イスタンブール日本人学校 教諭 澤田 祐一 氏	10月31日(金) 14:00～15:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一般 45人	30 人
	ふるさとふれあい講座（再掲） 「前田家三代利常と金沢の寺院群」 講師：石川県近世史料編さん室 室長 木越 隆三 氏	11月4日(火) 13:30～15:00	第1会議室	一般 150人	88 人
	世界理解講座 世界そのまんま③（再掲） 「ライフインシカゴ」 講師：元シカゴ日本人学校 校長 澤田 岩男 氏	11月5日(水) 14:00～15:30	まなびすとルーム (学習スペース)	一般 45人	16 人
映 画 会	本多の森シアター 秋の映画会（再掲） 「能登路に行く」「手取川ダム」 「蟬しぐれ」	10月25日(土) 10:45～11:45 13:45～16:00	第3会議室	一般 32人 46人	25 人
	本多の森シアター 秋の子ども映画会（再掲） 「レオ・レオニ5つの名作集」「アニメ ハチ公物語」 「風の神とこども」「キジも鳴かずば」「タヌキと彦市」 「塩ふきうす」「三年寝太郎」	11月3日(月・祝) 10:30～11:30 14:00～15:00	第3会議室	幼児・小学生 と保護者 20組 16組	61 人
合 計					688 人

#### 事業の評価（成果・課題）

今年度は当センター主催講座に子ども・親子を対象としたものがなかったため、フェア期間中に「子どもの日」を設け、2つの体験教室と映画会を実施した。いずれも定員を上回る応募があり、「楽しかった」「またやってみたい」との声も多数聞かれ、大変好評であった。

展示では、令和8年春のトキの放鳥に合わせて、自然史資料館所蔵の貴重なトキのはく製や関連する写真等の展示を誘致した。興味深く見入る来館者に、関心の高さが覗えた。また、昨年度に引き続き、能登半島地震に関する展示を行い、復興と防災を考える機会とした。今後も、創意工夫し新たな取り組みも取り入れながら、多くの方の来館を目標に、内容の充実を図っていきたい。

## 6 他の機関・団体との主催・共催事業

### (1) 社会教育フォローアップ研修(第2日)(改 生涯学習・社会教育担当者等研修)

#### 趣 旨

地域の生涯学習・社会教育の推進において、中核的な役割を果たす社会教育主事、社会教育士、社会教育施設職員等の専門知識、技術、実践力の向上を図るとともに、社会教育に関わる多様な主体のネットワークづくりをする。

#### 主 催

金沢大学社会教育研究振興会

#### 共 催

石川県教育委員会

#### 対 象

次のいずれかの条件に該当する者。50名程度 ※参加は任意。

- ・各市町の生涯学習・社会教育行政担当者
- ・社会教育主事
- ・社会教育士
- ・令和元年度以前の社会教育主事講習修了者
- ・生涯学習や社会教育施設等に勤務している者（公民館主事、青少年教育施設職員等）

#### 会 場

石川県庁1102会議室

#### 参加者数

11人

#### 期 日

令和7年8月29日(金) 10:00～16:00

#### 日 程

日 時	内 容	講 師
8月29日(金) 10:00～12:00	災害対応サイクルで考える防災対策	災害支援・防災教育コーディネーター/ 社会福祉士 宮崎 賢哉
13:00～16:00	避難所運営ゲーム(HUG)の実践	

(注) 公民館職員専門研修第2日と合同開催（参加人数は上記以外に公民館職員専門研修9人）

#### 事業の評価(成果・課題)

金沢大学社会教育研修振興会の研修事業が改編され、年2回の社会教育フォローアップ研修と、生涯学習・社会教育担当者等研修を統合し、社会教育フォローアップ研修が年3回となった。当センターが運営に直接関わるのは、公民館職員専門研修②と合同開催の、社会教育フォローアップ研修②である。

災害対策・防災をテーマに、演習やグループで話し合う場面が1日を通して多く設定されていた。演習では、避難行動訓練のシミュレーションや、学校の体育館を避難所として想定した設営計画を協議するなど、実際に災害が起きた場合に活かせるものであった。

受講者からは「社会教育士にとって、地域を理解することが一番重要であり、防災対策とは密接な関係がある。今回は、防災士を取得した際に学んだことを再確認することができ、とても意義のある学びであった」「今年度、防災士の講習を受講予定なので、今回の学びをベースに知識をグレードアップしたいと思う」などの感想が聞かれた。

次年度も、できるだけ実践的な内容を取り入れ、社会教育や生涯学習に関わる人々のネットワークづくりに寄与する研修としたい。

## (2) 県民映像カレッジ

### 趣 旨

ビデオ撮影および編集技術の習得・向上を通し、映像に親しむ生涯学習活動の推進を図る。

### 主 催

石川県視聴覚教育協議会

### 共 催

石川県立生涯学習センター

### 対 象

一般県民

### 会 場

石川県立生涯学習センター

### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	8月22日(金) 13:30~16:00	ビデオ撮影・編集に関する講義、 ビデオ編集実習	金沢学院大学芸術学部 准教授 越田 久文	5 人	4 人

### 事業の評価(成果・課題)

各人が映像制作に関する知識・技能をレベルアップすることができた。今後も、より幅広い年代の方に受講していただけるよう内容を工夫したい。

### (3) ICTセミナー

#### 趣 旨

視聴覚教育や情報技術の動向について学ぶとともに、市町相互の連携を図る。

#### 主 催

石川県視聴覚教育協議会

#### 共 催

石川県立生涯学習センター

#### 対 象

各市町社会教育・生涯学習関係職員（公民館・図書館等）、教育機関（団体）職員、高等学校教員等

#### 会 場

第1回 まなびの杜ののいちカレード

第2回・第3回 石川県立生涯学習センター

#### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	8月5日(火) 14:00～15:30	人を惹きつけるコンテンツ制作の秘訣	金沢工業大学メディア情報学部 メディア情報学科 准教授 根岸 一平	15 人	7 人
2	11月14日(金) 13:30～16:30	Googleツール活用講座 基礎編	Officeアシスタ 代表 山川 広美	10 人	9 人
3	12月17日(水) 10:00～16:00	Googleツール活用講座 応用編	Officeアシスタ 代表 山川 広美	10 人	7 人

#### 事業の評価(成果・課題)

第1回は、魅力的なコンテンツづくりを科学的な観点からお話いただき、わかりやすいデザインの知識について学んだ。数値的に見えやすい色の配色・レイアウトなどが理解できた、期待していた内容で今後に活かすことができる等の感想が寄せられ好評であった。

第2回、第3回は有用性の高いGoogleツール活用について基礎編と応用編に分けて開催した。受講者からは新しい知識が増えた、個別に質問に応えてもらい丁寧でとても分かりやすかったと好評であった。今後も受講者ニーズを的確に捉えたテーマを設定して、開催を継続したい。

#### (4) 令和7年度(第56回)いしかわ映像作品コンテスト

##### 趣 旨

生涯学習の場で実際に役立つ視聴覚教材の自作活動や、地域の映像記録活動を促進し、併せて県民の映像文化への関心と制作技術の向上を図る。

##### 主 催/共 催

石川県視聴覚教育協議会／石川県教育委員会

##### 後 援

石川県小中学校視聴覚教育研究協議会、石川県高等学校視聴覚教育研究会、  
石川県社会教育協会、石川県公民館連合会

##### 応募資格

県内に在住もしくは勤務する個人またはグループ

##### 応募期間

令和7年10月1日(水)～令和8年1月22日(木)

##### 応募規定及び賞

- 規定 題材は自由 例・学校(幼稚園等を含む)や公民館等の生涯学習施設で教材として活用できるビデオ教材
- ・学校紹介ビデオ
  - ・一般撮影作品、ほか

賞 石川県教育委員会賞(最優秀賞)、石川県社会教育協会賞(優秀賞)、  
石川県公民館連合会賞(優秀賞)、奨励賞を授与する。

##### 審査及び授賞式

審査会 令和8年2月 4日(水) 13:30～15:40

授賞式 令和8年2月28日(土) 14:00～15:00

##### 審査委員

越田 久文(金沢学院大学准教授)＜審査委員長＞ 本谷 公夫(元北陸放送番組プロデューサー)

岩木 智子(石川県立生涯学習センター館長)

##### 応募作品数

10点

##### 審査結果及び授賞者氏名

内 容	
石川県教育委員会賞(最優秀賞) 「美川と、夢の跡」 石川県立金沢錦丘高等学校 放送部	
石川県社会教育協会賞(優秀賞) 「あーと ～アナタのいばしょ～」 石川県立金沢錦丘高等学校 放送部	石川県公民館連合会賞(優秀賞) 「金工NEWS」 金沢市立工業高等学校 前期保健委員会
奨励賞 「悪魔祓い(小松市向本折町)」 小松市公民館連合会	「あきこめ工房。」 石川県立寺井高等学校 放送部

##### 事業の評価(成果・課題)

令和7年度は、10月1日から翌年1月22日までに、高校生から一般までの幅広い年齢層から、10点の応募があった。

今後も、早期に各学校・視聴覚教育研究団体へ働きかけるなど、コンクールの実施・作品募集の周知を図り、「県民映像カレッジ」とも連携して、より多くの県民からご応募いただけるようにしたい。

(5) 視聴覚いしかわ(会報)

石川県視聴覚教育協議会の事業として、会報第22号を発行。

発行日・号数	巻頭言	巻頭言執筆者
3月19日 第22号	「人を惹きつけるコンテンツ制作の秘訣」	金沢工業大学 メディア情報学部メディア情報学科 准教授 根岸 一平

## Ⅱ 生涯学習センター能登分室

### 1 講座事業

#### (1) 能登文化講座

##### 趣 旨

能登の地域住民が、著名な講師による専門性の高い講話を通し、より広い人生体験や歴史・文化にふれることにより、豊かな生活を営むとともに、さらなる生涯学習への意欲喚起に活かす。併せて、「のと里山空港」の賑わい創出を図る。

##### 対 象

一般

##### 会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階会議室

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	7月26日(土) 13:30~15:00	戯家(たわけ)と反骨、 葛屋重三郎	小説家 増田 晶文	60人	54人

##### 事業の評価(成果・課題)

令和6年1月の能登半島地震の影響により、のと里山空港ターミナルビルの会議室を借用して開催した。NHK大河ドラマの主人公「葛屋重三郎」に関する小説等を複数著述している増田晶文氏を講師に迎え、江戸吉原の生活、田沼の政治、歌麿や北斎の浮世絵など、豊富な話題に触れながら、重三郎の魅力について存分に語っていただいた。受講者は熱い語り口に引き込まれ、暫し時の流れに溶け込むような一時を過ごした。

受講者の居住地は、輪島市・鳳珠郡が89%、能登地区全体が94%であり、4段階のアンケートによる評価は、満足度上位2段階以上が96%と、十分に満足度の高い講座となった。次年度も、地域の方々の学習ニーズに応えることのできる魅力ある講座の開催に努めていきたい。

#### (2) 能登の歴史探訪講座

##### 趣 旨

能登の歴史を学び、ゆかりの史跡や文化財に思いを寄せて、ふるさとへの理解を深める。

##### 対 象

一般

##### 会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階講義室

##### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	11月20日(木) 13:30~15:30	藩主前田斉泰の能登巡見	七尾美術館館長 金沢学院大学名誉教授 東四柳 史明	32人	21人

##### 事業の評価(成果・課題)

6月より七尾美術館館長に就任した、東四柳史明金沢学院大学名誉教授に「加賀13代藩主前田斉泰が、嘉永6年に海防施設を視察するために能登の沿岸地区を巡見した際の足跡と歴史の風景」について講義していただいた。

受講者の81%が奥能登在住で、身近な地名が多いこともあって興味深く聴き入っており、満足度の4段階評価では、上位2段階が95%と満足度も高かった。

今回は講師の都合により日程変更となり、当日を含めて9人のキャンセルがあったものの、東四柳氏には平成29年度より毎年講義をしていただいていることもあって、リピーターの多い人気講座となっており、今後も継続して実施したい。

### (3) 古文書解読講座

#### 趣 旨

古文書解読の知識と技能を修得し、地域の新たな歴史や文化などを発見する。

#### 対 象

一般

#### 会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階講義室

#### 日 程

番号	日 時	内 容 (演 題)	講 師	定員	参加人数
1	11月21日(金) 13:30～15:30	古文書にみる加賀・能登の歴史	加能地域史研究会代表委員 木越 祐馨	32人	20人

#### 事業の評価(成果・課題)

平成15年の能登校開校時から継続している人気の高い講座であったが、昨年度は能登半島地震と奥能登豪雨の影響により実施できなかった。今年度は、加能地域史研究会代表委員を務める木越祐馨氏が講師を引き受けてくださり、「天正12年と慶長2年に前田利家が発給した文書をもとに16世紀末の加賀・能登のあゆみを探る」ことをテーマに講義していただいた。

4段階評価において上位2段階が占める割合は、「興味が持てる内容だった」が95%、「満足できた」が90%と大変好評であり、今後も新たな講師の発掘に努めるとともに講座内容の充実を図り、継続させていきたい。

#### (4) サイエンスマジック教室

##### 趣 旨

文部科学省による「被災地の子供への学習・体験活動の提供支援」（令和7年度分）の一環として、能登半島地震で被災した児童生徒に対して、校外学習の場や文化的体験活動の機会の提供、夢をはぐくむ講演会の実施を通して児童生徒の心のケアおよび学習意欲の向上に寄与する。

##### 対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小学生

##### 会 場

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の社会教育施設

##### 内 容

マジシャンルパンのサイエンスマジックショー&マジック体験教室

##### 日 程

番号	日 時	会 場	講 師	定員	参加人数
1	8月18日(月) 14:00～16:00	ラポルトすず (珠洲市)	マジシャンルパン 高田 隆二	24人	7人
2	8月19日(火) 14:00～16:00	さわやか交流館プルート (穴水町)	マジシャンルパン 高田 隆二	24人	5人
3	8月22日(金) 14:00～16:00	輪島漆芸美術館 (輪島市)	マジシャンルパン 高田 隆二	24人	10人
4	8月29日(金) 14:00～16:00	コンセールのと (能登町)	マジシャンルパン 高田 隆二	24人	3人

##### 事業の評価(成果・課題)

昨年度、のと里山空港で実施して満足度が高かったことで、二市二町を会場に夏休み期間に実施した。マジックや空気砲などに歓声をあげ、教えてもらったマジックを保護者や友達と練習しあう姿は微笑ましく、すべての参加者が「楽しかった」「満足した」という回答であった。ただ、小学校高学年の参加が2名と少なく、子どものニーズにあった内容を把握する必要性を痛感した。

#### (5) 工作教室

##### 趣 旨

「(4)サイエンスマジック教室」と同じ

##### 対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小学生

##### 会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階講義室

##### 日 程

番号	日 時	内 容	講 師	定員	参加人数
1	9月27日(土) 10:00～12:00	選べるよくばりクラフト体験教室	さくら貝小貝クラフト華 美 智紀・濱口 初美	20人	16人
2	9月28日(日) 10:00～12:00	選べるよくばりクラフト体験教室	さくら貝小貝クラフト華 美 智紀・濱口 初美	20人	19人

##### 事業の評価(成果・課題)

昨年度同様、地域に貢献する社会人の方々の協力を得て実施した。児童は「フォトフレーム」「小貝アート」の2分野から1つ選択し、さくら貝などの小貝を用いた工作に主体的に取り組み、各々個性豊かな作品を完成させることができた。参加児童および保護者は、能登に美しく素晴らしい資源が存在するという認識を深めることができた。児童の感想には、「図画工作にも使えそう」「家でも作ってみたい」「貝拾いに行きたくなった」等があり、学習意欲の高揚に繋がる意義深い行事となった。児童の作成した作品は、10月と12月に実施した「サンドブラスト体験教室」の開催時に展示した。

## (6) 音楽鑑賞教室

### 趣 旨

「(4)サイエンスマジック教室」と同じ

### 対 象

能登町の小学5・6年生（柳田小・宇出津小・鶴川小・小木小・松波小）

### 会 場

能登町立宇出津小学校

### 日 程

番号	日 時	内 容	演奏曲	参加人数
1	10月30日(木) 14:00～15:10	オーケストラ・アンサンブル金 沢による音楽鑑賞教室	プロメテウスの創造物(ベートーベン)ほか	128人

### 事業の評価(成果・課題)

昨年度は弦楽四重奏であったが、本年度は能登町の5小学校の5・6年生を対象にフルオーケストラによる音楽鑑賞教室を実施した。子どもたちは、オーケストラ・アンサンブル金沢の迫力のある演奏に圧倒されるとともに、指揮者体験、フライパンを使用しての演奏、Mrs. GREEN APPLEメドレーなど興味の尽きない時間となった。アンケートにも「とても感動したので、家族に紹介してもう一度聞きに行きたい」や「この機会をつくってくださった人達に感謝したい」など、復興に向けて成果のある事業であった。また、保護者など100名を超える一般客も大いに会場を盛り上げた。

## (7) 講演会

### 趣 旨

「(4)サイエンスマジック教室」と同じ

### 対 象

輪島市・珠洲市・能登町・穴水町の小学生および中学生

### 会 場

のと里山空港ターミナルビル 4階会議室

### 日 程

番号	日 時	内 容(演 題)	講 師	定員	参加人数
1	12月6日(土) 14:00～15:00	わくわくさんでおなじみ くぼたまさと わくわく講演会	久保田 雅人	40人	小学生33人 中学生 2人

### 事業の評価(成果・課題)

過去にNHKで放送された人気番組「つくってあそぼ」に長期にわたり出演した久保田雅人氏は、講演および工作のスペシャリストであり、小学生低学年であっても簡単に意欲的に取り組むことのできる工夫を凝らした工作教材を準備し、参加者を巧みに魅了した。付き添った保護者の方々の表情も豊かで明るく、参加児童生徒全員がアンケートに「満足できた」と回答した。「工作ショウ」を楽しみ好奇心を高め、「工作ゲーム」を通して実際に工作を手掛ける充実感を得ることのできた非常に有意義な行事であった。

## 2 他の機関・団体との共催講座

### (1) サンドブラスト体験教室

#### 趣 旨

のと里山空港の利用促進等各種イベント時などに、マスコットキャラクターなどのイベント限定転写シールをガラスコップに貼り、砂を吹きつけて図柄を写し取るサンドブラスト加工を行って、ものづくりの喜びを実感し、併せて空港に親しむ一助とする。

#### 主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会 【4月19日は のと里山空港利用促進協議会】

#### 共 催

石川県立生涯学習センター能登分室

#### 対 象

イベントにより小学生限定または小学生以下優先

#### 会 場

のと里山空港ターミナルビル内

#### 日 程

番号	開催日	内 容 (イベント)	限定数	制作数	備 考
1	4月19日(日)	大阪・関西万博特別デザイン (関西万博チャーターイベント)	50個	30個	会議室・作業室で実施
2	7月5日(土)	開港記念限定デザイン (開港記念イベント)	100個	88個	講義室・作業室で実施
	7月6日(日)		100個	115個	
3	10月12日(日)	空の日限定デザイン (空の日フェスティバル)	200個	93個	講義室・作業室で実施
4	12月21日(日)	クリスマス限定デザイン (クリスマスイベント)	150個	99個	講義室・作業室で実施
合 計			600個	425個	

※実施日は空港における行事開催日 時間帯は9:30または10:00～15:00

#### 事業の評価(成果・課題)

令和6年1月の能登半島地震の影響により、発災前に例年毎月第二日曜日に行っていた「季節のデザイン」シールを用いた体験教室は、昨年度同様中止となった。

今年度は、「関西万博チャーターイベント」「開港記念イベント」「空の日フェスティバル」「クリスマスイベント」計4回の空港イベント開催時に、「限定デザイン」シールを用いて体験教室を実施した。イベントは毎回賑やかで、参加した子どもたちは保護者と共に様々な催事を楽しみ、体験教室の成果物を笑顔で持ち帰った。過去に体験教室に参加経験のある家族の中には、持参したガラスコップに加工を依頼する場面もあり、着実に地域に根付いた行事となってきている。

能登地区外からの参加者も多く、能登の復旧・復興への意識高揚にも寄与している行事である。

### 3 他の機関・団体との共催事業

#### (1) のと里山空港書道作品展

##### 趣 旨

能登地区（宝達志水町以北）の小学生が、「のと里山空港」への関心を深めるとともに、作品を展示することで「のと里山空港」を地域の賑わい創出の場とすることを目的とする。

##### 主 催

のと里山空港賑わい創出実行委員会

##### 後 援

のと里山空港利用促進協議会

##### 共 催

石川県立生涯学習センター能登分室

##### 題 材

低学年（1・2年生） 「のと」  
中学年（3・4年生） 「のと里山」  
高学年（5・6年生） 「のと里山空港」

##### 対 象

能登地区（宝達志水町以北）の9市町47小学校・義務教育学校に在籍する児童

##### 会 場

のと里山空港ターミナルビル内

##### 日 程

実施日程	内 容	人 数	備 考
令和7年11月下旬～ 令和8年1月15日(木)	書道作品の募集・提出	応募 33校 252名	学校を通して募集・提出
令和8年1月31日(土) ～2月12日(木)	作品展示 (特選・準特選・優秀・佳作・入選)	展示 27校 108名	展示会場：2階出発ロビー
令和8年2月 8日(日)	表彰式 (特選・準特選・優秀)	表彰 16校 36名	表彰式会場：4階会議室

##### 事業の評価（成果・課題）

7市町33校の小学校・義務教育学校から252名の応募があり、昨年度より25名増加した。なかでも、学校において毛筆指導が始まっていない1・2年生が79名と20名増加した。今後、応募のなかった羽咋市と宝達志水町の学校にも働きかけを行っていきたい。

特選・準特選・優秀・佳作・入選の作品は、のと里山空港の出発ロビー前に展示し、航空機の利用客をはじめ、大勢の方々に鑑賞していただいた。

本事業は、能登地区の小学生がふるさと能登および「のと里山空港」への関心を深めるとともに、作品展示を通して「のと里山空港」の賑わい創出にも貢献できる事業である。

## 4 能登分室利用状況

### 令和6年能登半島地震後の能登分室所管会議室の臨時使用状況

令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震により、奥能登行政センター及び当該センターに入居する生涯学習センター能登分室では、建物・設備等に甚大な被害が発生したため、能登分室は同年1月4日から臨時休館の措置をとった。

能登分室所管の会議室については、被災当初、建物自体が電気や水道、トイレなどがかろうじて使用可能な状態であったことから、非常時の臨時的措置として、中央省庁や県内外の自治体職員など、支援・復旧作業に従事する方々の宿泊場所として使用されていたが、令和6年度からは、行政財産の使用許可等の手続きを経て、被災地の復旧・復興に尽力する関係機関・団体が使用している。

部屋名	R7年度の使用状況（R8年3月現在）
講義室A	(公社)大学コンソーシアム石川（R6.8.26～）
講義室B	奥能登土木総合事務所の分室（R6.4.3～）
調理実習室 運動指導室	北陸電力送配電(株)（R6.6.3～R8.3.31）
作業室	※奥能登行政センター入居機関が随時使用
多目的室	(一社)能登官民連携復興センター（R6.10.2～）

令和 7 年度  
事業報告書

---

令和 8 年 5 月 2 1 日 発行

編集・発行 石川県立生涯学習センター

〒920-0935

金沢市石引 4 丁目 1 7 番 1 号

石川県本多の森庁舎

TEL 076(223)9571 (代表)

FAX 076(223)9585

URL <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/shakyo-c/>



PC・スマートフォン用